

施工要領書



ホーム床点検口 HFPB3 型

■付属部品明細表

付属部品名	入数		
	HFPB30	HFPB45	HFPB60
スピードクリッパー	4	4	8
外枠受け樹脂	8	8	8
なべタッピンねじ(4×35)	8	8	8
取手	1	1	1
回転取手取付けキャップ	1	1	1
なべ小ねじ(M4×16)	2	2	2
平座金(呼び径4)	2	2	2
さらタッピンねじ(3×16)	8	8	8
蓋補強材A(アルミ形材)	1	2	2
蓋補強材B(アルミ曲物)	-	-	2
なべタッピンねじ(4×12)	8	14	16

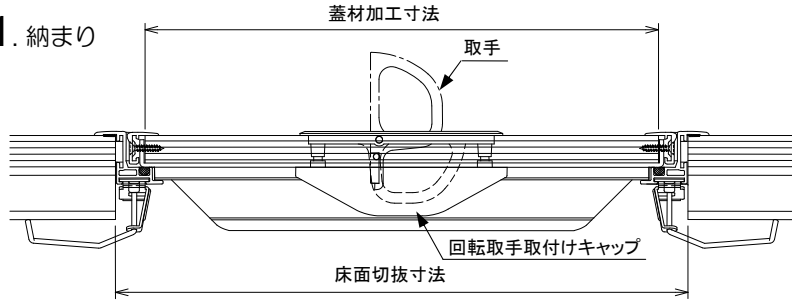
⚠ 施工上のお願い

外枠額縁裏面の両面テープについて

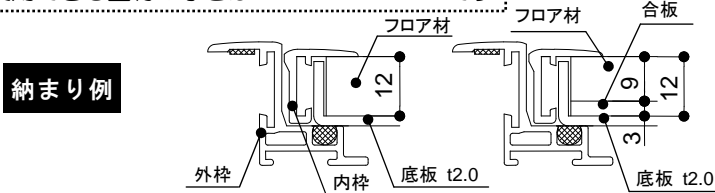
- 指示に従い必ず守る**
 ■外枠額縁裏面(4箇所)に貼られている両面テープは、外枠を最終的に取付ける際に剥離紙をはがしてください。
 ※剥離紙をはがさずに外枠を取付けると、音なりの原因となる場合があります。
- 禁止**
 ■外枠を仮止めする際に、外枠額縁裏面(4箇所)に貼られている両面テープの剥離紙を、はがさないでください。
 ※仮止めの際に剥離紙をはがしてしまうと、仕上げの際に、外枠が外し難くなったり、両面テープの接着力が損なわれる原因となります。

! 外枠をスピードクリッパーで取付ける場合 <外枠を外枠受け樹脂で取付ける場合は裏面をご覧ください>

1. 納まり



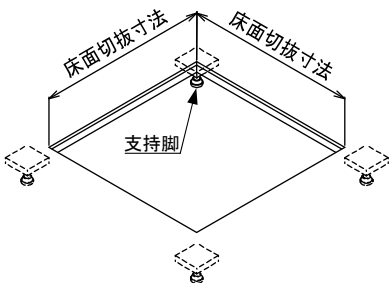
使用できる蓋材の厚さは11.8~13mmです



納まり例

2. 床の開口

- ①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口します。



⚠ 施工上のお願い

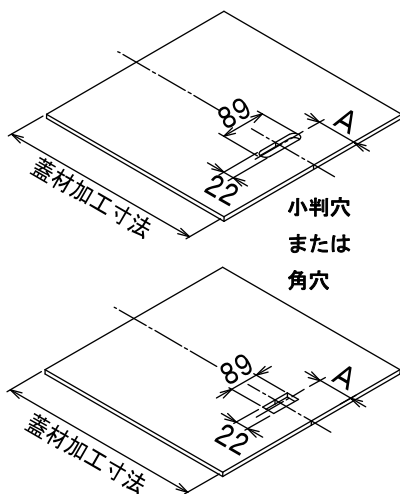
床面は床面切抜寸法通りに開口してください。スピードクリッパーが取付けできず、強度が不足する場合があります。切抜寸法通りに開口されない場合、点検口が破損するおそれがあります。(切抜寸法の目安許容範囲: +3mm/目安であり製品強度を保証するものではありません) 開口部の四隅には支持脚を設置してください。開口部の強度が不足する場合があります。

型式	床面切抜寸法(mm)
HFPB30	300×300
HFPB45	450×450
HFPB60	600×600

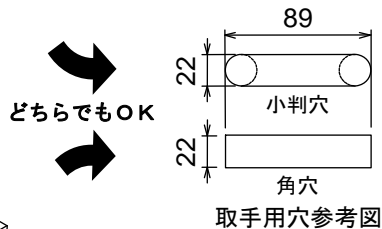
- ⚠改築の場合、下面の配管にご注意ください。
- ⚠開口部のまわりは、スピードクリッパー取付けの障害にならないように支持脚等を配置してください。
- ⚠フロア材が直張フローリング材の場合はフロア材が沈まないよう開口部のまわりに、際根太等を張ってください。

3. 蓋材の加工

- ①蓋材加工寸法に蓋材(切抜いた床材)を切断し、指定された位置に取手用の開口、小判穴または角穴(22×89)を設けます。



型式	蓋材加工寸法(mm)	A寸法(mm)
HFPB30	272×272	60
HFPB45	422×422	100
HFPB60	572×572	100



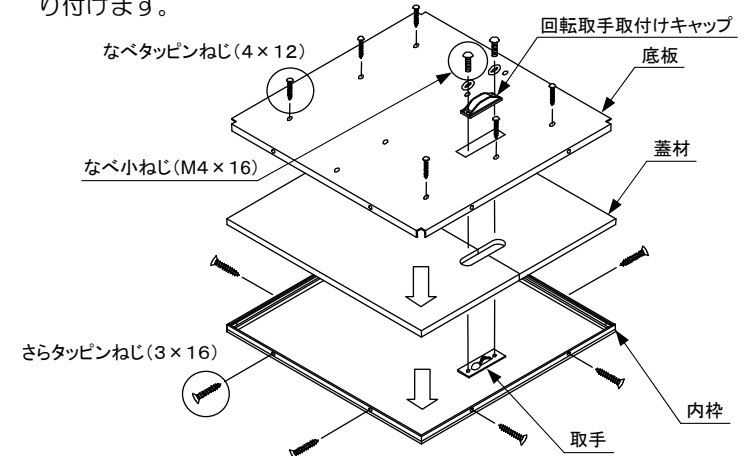
⚠ 施工上のお願い

蓋材は蓋材加工寸法通りに切断してください。内枠が変形したり、強度が不足する場合があります。

- ⚠厚みは、指定の厚さになるようにしてください。
- ⚠板材の場合、板の継目が中央にくるように切断してください。
- ⚠フロア材が直張フローリング材の場合はフロア材裏面の緩衝材をはがし合板等で厚みを調整してください。

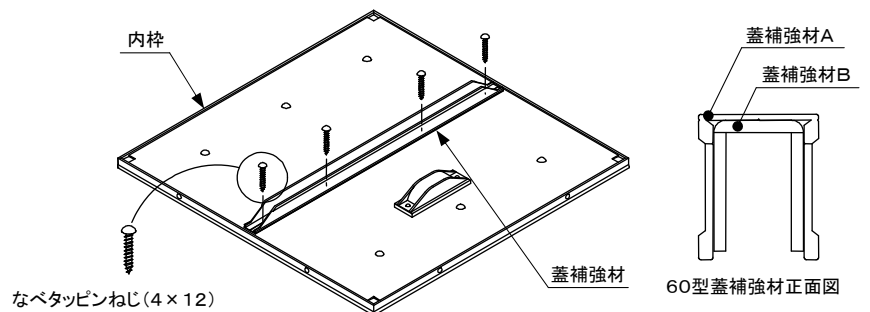
4. 蓋の組立

- ①蓋材を裏返し、底板を覆いかぶせます。
- ②底板の外側から、底板と蓋材をなべタッピンねじ(4×12)で固定します。
- ③底板と蓋材を内枠にはめ込み、内枠の外側からさらタッピンねじ(3×16)で固定します。
- ④蓋材になべ小ねじ(M4×16)で取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。



5. 蓋補強材の取付

- ①蓋補強材を蓋材の裏面に、なべタッピンねじ(4×12)で固定してください。(30型: 1本, 45型・60型: 2本)



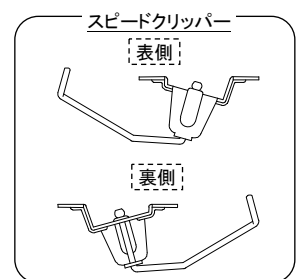
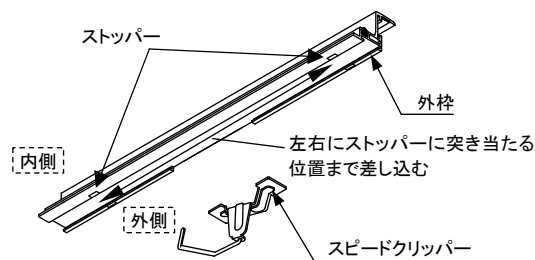
⚠60型は蓋補強材Bを蓋補強材Aの中にはめ込んで取付けてください。

6. 外枠の取付

- ①外枠にスピードクリッパーを外枠外側の挿入口より各辺2個差し込みます(計4個 ※60型は8個)
- ⚠スピードクリッパーの表側が外枠の内側を向くように差し込んでください。

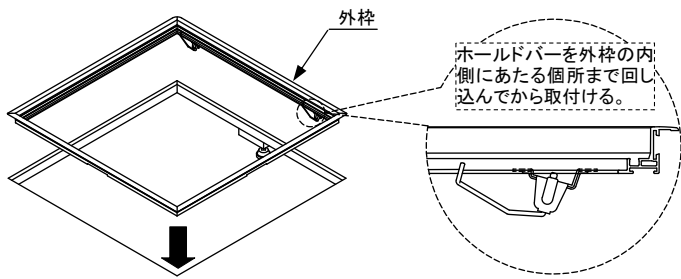
⚠ 施工上のお願い

スピードクリッパーは必ず外枠の溝に入れ引っ掛けてください。外枠を保持できない場合があります。

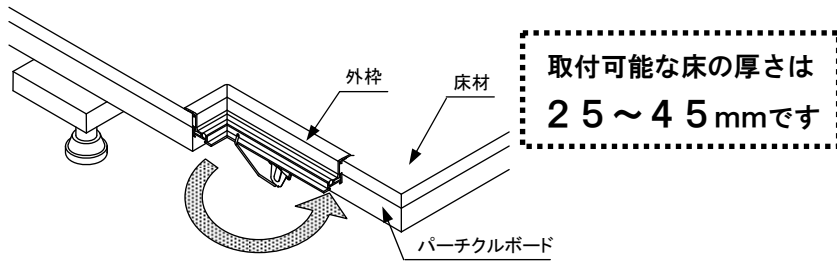


裏面につづきます

②スピードクリッパーのホールドバーを外枠の内側にあたるまでまわし、外枠額縁裏面の両面テープの剥離紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。



③スピードクリッパーのホールドバーを回転させ外枠を床材に固定します。

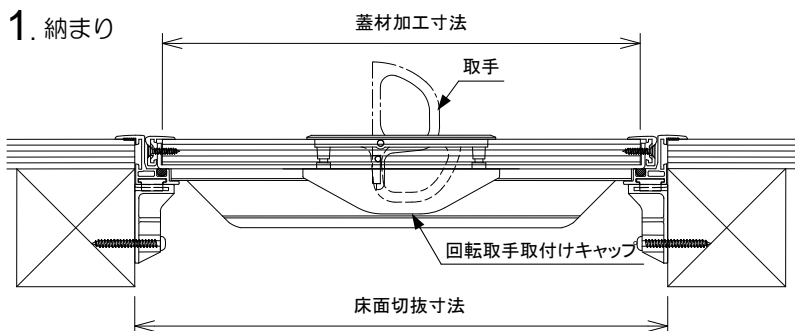


- スピードクリッパーの取付位置は外枠の溝のストッパーに突き当たる位置にしてください。(4箇所) ※60型は8箇所
- 額縁の裏側にある両面テープが強く押されるように外枠を取り付けてください。
- 蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は2mm以内としてください。
- 外枠をはめ込む際、開口部床面の汚れを拭き取ってください。汚れていると両面テープの粘着力が低下する恐れがあります。
- 外枠はめ込みの際は、一度接着すると位置の調整が困難なので注意してください。

！ 外枠を外枠受け樹脂で取付ける場合

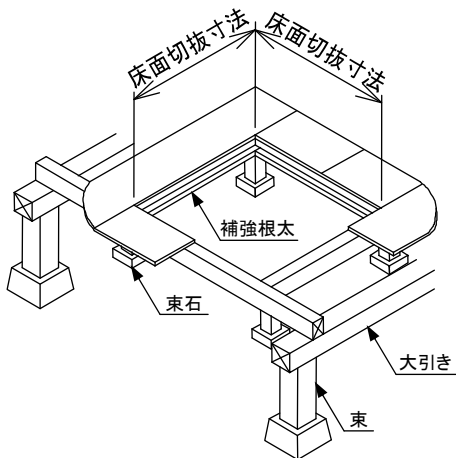
<外枠をスピードクリッパーで取付ける場合は裏面をご覧ください>

1. 納まり



2. 床の開口

①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。



△ 施工上のお願い

床面は床面切抜寸法通りに開口してください。強度が不足する場合があります。

型式	床面切抜寸法(mm)
HFPB30	300×300
HFPB45	450×450
HFPB60	600×600

- △床の強度は、束を入れ十分確保してください。
- △切抜いた床材は、蓋材に使用してください。
- △改築の場合、下面の配管にご注意ください。
- △フロア材が直張フローリング材の場合はフロア材が沈まないよう開口部のまわりに、際根太等を張ってください。

3. 蓋材の加工

裏面の「3. 蓋材の加工」を参照してください。

4. 蓋の組立

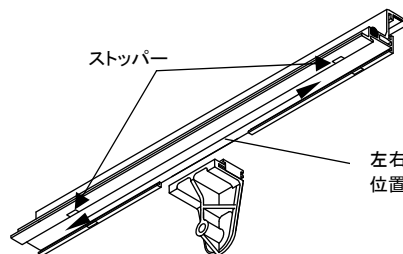
裏面の「4. 蓋の組立」を参照してください。

5. 蓋補強材の取付

裏面の「5. 蓋補強材の取付」を参照してください。

6. 外枠の取付

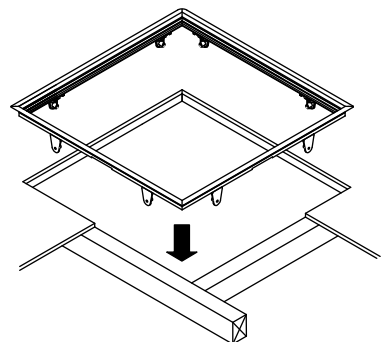
①外枠に外枠受け樹脂を外枠外側の挿入口より各辺2個、外枠の溝のストッパーに突き当たる位置まで差し込みます。(計8個)



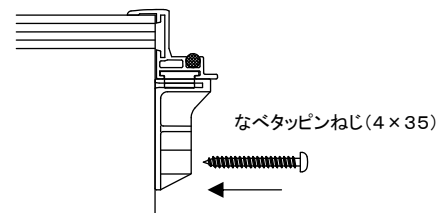
△ 施工上のお願い

外枠受け樹脂は必ず外枠の溝に入れ引っ掛けて、ストッパーに突き当たる位置まで差し込んでください。外枠を保持できない場合があります。

②外枠額縁裏面の両面テープの剥離紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。



③外枠受け樹脂を根太に押し当てて、なべタッピンねじ(4×35)で固定します。(計8ヶ所)



- 額縁の裏側にある両面テープが強く押されるように外枠を取り付けてください。
- 蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は2mm以内としてください。
- 外枠をはめ込む際、開口部床面の汚れを拭き取ってください。汚れていると両面テープの粘着力が低下する恐れがあります。
- 外枠はめ込みの際は、一度接着すると位置の調整が困難なので注意してください。

△ 使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。